【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	鹿島市立鹿島小学校
1　前年度 評価結果の概要	①学力の向上・・・つながりを意識した授業の共通実践は学習意欲の向上に結びついている。さらに表現力の育成を図るとともに、読書の推進・家庭学習の充実を図る。 ②豊かな心の育成・・・毎月のアンケートにより、些細なことでも先生に伝える体制が整ってきた。今後も、自己肯定感、自己有用感の向上を図っていく。 ③健やかな体作り・・・生活習慣を振り返ることにより、よりよい生活につなげることができている。今後は、食事の内容や運動の習慣化に向けた取組も充実させていく。 ④働き方改革・・・業務改善に対する意識は向上してきている。さらに、職場環境の改善に取り組むと共に、個々のスキルアップの機会も作っていく。
2　学校教育目標	いのち輝く 鹿島っ子の育成
3　本年度の重点目標	①　学力の向上・・・主体的で対話的な授業づくり　家庭学習の充実　学校図書館を活用した読書活動の推進 ②　豊かな心の育成・・・人権教育の充実及びいじめ防止対策　特別支援教育の充実 ③　健やかな体作り・・・体力向上へ向けた年間を通したスポーツチャレンジへの取組　食育の充実　安全教育（交通・災害）の充実 ④　働き方改革・・・子どもに向き合う時間及び教材研究の時間の確保　時間外在校等時間の上限の遵守

4　重点取組内容・成果指標　　**中間評価**　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価	
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果
●学力の向上	○主体的で対話的な授業づくり ○読書活動の推進	○授業の内容はよくわかると回答した児童95%★ ○学年で決めた目標冊数の本を読んでいる児童90%	・話し合ったり、説明したりする活動を仕組む。 ・図書室の本を活用した授業を仕組み、読書への関心を高める。				
	○学習規律及び家庭学習の充実	○学校では落ち着いて勉強することができている児童90%　★ ○１日に決まった時間学習している児童85%★	・「鹿島の学び10ヶ条」から、各月の目標を設定し、月末に振り返りを行う。 ・「生活・家庭学習パワーアップ週間」を設け、家庭への啓発を図る。		・		・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○相手の気持ちを考えて行動できたと回答した児童85%	・年間を通した「あったかの木」や「やさしさの木」の取り組み ・掲示板を活用した道徳の実践の紹介などで道徳教育の充実を図る。		・		・
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校が楽しいと回答した児童85%	・月１回のいじめアンケートの実施及び実態把握と指導		・		・
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・児童個人に良さを伝えたり、みんなに広げたりして、自己肯定感を高める活動。 ・月１回の「一事貫行」のふりかえりと励まし。		・		・
	◎地域・保護者と学校の連携・協働	◎地域の方と一緒に行う学習に興味があると回答した児童80%	・各学年１単元以上、地域人材を生かした、体験学習や環境学習等を行う。		・		・
●健康・体つくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○スポーツチャレンジやランニングweekの取り組みが、体力づくりに役立っていると回答した児童85% ○「健康に良い食事をしている」児童90%以上★	・スポーツチャレンジやランニングweekの取り組みでは、休み時間やひまわりタイム、体育科での体つくり運動を取り入れる。 ・ひまわりタイムを活用し、全校で取り組み、表彰を行う。 ・栄養教諭と連携し、全学年で食育授業を実施する。		・		・
	○よりよい生活習慣の形成	○あいさつ、廊下歩行、無言掃除ができていると回答した児童85%	・年2回の「生活・家庭学習パワーアップ週間」アンケートの実施。 ・生活委員会を活用した生活目標の設定。 ・掲示板の活用や全校朝会を生かした、取り組み児童の紹介。 ・連絡会を活用した指導事項の共通理解。		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定（毎週金曜日）及び確実な実施（定時退勤ボードの活用）。 ・アンケート等の集約、デジタル化 ・放課後の時間確保。		・		・
	○児童と向き合う時間や教材研究の時間の確保に向けた業務の効率化	○効率的な教育活動にするための個人の取組目標を達成できた教師90%	・デジタルドリルの活用推進 ・デジタル掲示板の活用推進 ・教材・資料等の共有化		・		・
●特別支援教育の充実	○個に応じた指導、支援の充実	○的確な児童把握に基づき、配慮を必要とする児童への指導を工夫できた職員90%	・情報共有の機会を定期的にもつと共に、全職員で支援計画に関する研修に取り組む。 ・SCと連携し個に応じた手立ての実践に繋げる。		・		・

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果
○安心・安全な学校づくり	○危機管理意識の高揚	○災害や事故から命を守るための行動について理解することができたと回答する児童90%	・年2回の避難訓練等における安全指導の強化（対児童、対職員）。 ・集団登校の各班の自己評価及び定期的な集団下校の実施。		・		・

●・・・県共通　○・・・学校独自　◎・・・志を高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・